

大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所ワークショップ  
「有機・バイオエレクトロニクス研究開発のさきがけ」

趣旨：有機・バイオエレクトロニクスはグリーンイノベーションにおける最も重要な研究課題の1つであり、その研究開発の進展は有機ELや有機薄膜太陽電池への応用のみならず多方面に大きな裾野の広がりを見せています。本ワークショップでは、第一線でご活躍の研究者の方々に、有機半導体、有機スピネレクトロニクス、有機強誘電体、高分子アクチュエータ、バイオデバイスの最近の進展ならびに将来に向けての新しい展開についてご講演いただきます。

主催：大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所

協賛：応用物理学会関西支部、応用物理学会有機分子・バイオエレクトロニクス分科会、  
日本表面科学会関西支部（依頼中を含む）

日時：2014年1月17日（金）13:00～17:30（懇親会 17:30～19:30）

場所：大阪電気通信大学 駅前キャンパス1階101号室

13:00～13:05 はじめに

13:05～13:55 東京大学 竹谷 純一

「高移動度有機半導体のキャリア伝導とデバイス応用」

13:55～14:45 大阪市立大学 仕幸 英治

「有機スピントロニクスの現状と展開」

（休憩）

15:00～15:50 神戸大学 石田 謙司

「分子ダイポールの制御とセンサ・創エネ応用」

15:50～16:40 産業技術総合研究所 杉野 卓司

「高分子アクチュエータの研究開発と応用への展開」

16:40～17:30 日本電信電話株式会社 古川 一暁

「グラフェン誘導体を利用した生体分子検出」

17:30～19:30 懇親会（駅前キャンパス2階207号室）

問い合わせ先：

大阪電気通信大学工学部基礎理工学科 中村敏浩

TEL:072-820-3821, E-mail: tosihiro@isc.osakac.ac.jp